

令和5年度福岡市文学館トピック展示
「風よ一書簡・作品からみた伊藤野枝」関連イベント

知る・伊藤野枝

今年で没後100年を迎える福岡ゆかりの女性解放運動家・文筆家の伊藤野枝。野枝の故郷今宿で案内人・語り部をつとめる大内士郎さん、当時から糸島の出来事を追いつける地元紙「糸島新聞」の下村佳史さんをお迎えし、様々な角度から伊藤野枝を語り尽くします。

日時 令和5年10月1日(日) 14時～16時(開場 13時30分)

会場 福岡市総合図書館3階第2会議室

定員 30名(要事前申込) 申し込み締切 9月15日(金)

参加
無料

イベントプログラム ※途中休憩があります

1 講演 14:00-14:30

「今宿での伊藤野枝」

大内士郎氏(郷土史家・薬剤師)

福岡市西区今宿出身。外資系製薬会社勤務を経て、福岡市埋蔵文化財センターの遺跡発掘に従事。のち今宿公民館、玄洋公民館主事や「今宿タイムズ」の編集長を務める。公民館主事時代から、伊藤野枝のゆかりの地の案内人として、また語り部として活動する。



2 講演 14:30-15:00

「野枝を報じた糸島新聞」

下村佳史氏(糸島新聞社代表取締役社長)

山口県下松市出身。1985年4月西日本新聞社に入社。1市2町の合併による糸島市誕生時の前原支局長、唐津支局長(参事)、専門委員・福岡西支局長を経て2022年6月より現職。



3 講演 15:10-15:30

「野枝が書きたかったもの」

神谷優子(当館特別資料専門員・本展示担当者)

4 鼎談 15:30-16:00

「故郷から野枝を語る」大内士郎氏×下村佳史氏×神谷優子

応募方法

応募事項(1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号をきれいに記載し、ハガキ、FAX、メール、来館(福岡市総合図書館3階事務室)のいずれかの方法でお申し込みください。

(1人1口) 定員を超えた場合は抽選となり、当選者(受講決定者)のみ連絡します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムが変更となる場合があります。